

**第3回・4回での土曜日の有効活用に係る議論の整理****議論の到達点**

- ・子どもや保護者のニーズを踏まえながら、学校週5日制の下で、子どもたちの興味・関心に応じて学習や体験活動等の機会を提供するための創意工夫が大切である。

**土曜日の活用策の方向性**

- ・5日制が設置された趣旨を踏まえ、小・中学校、特に義務教育として、地域に根付いた形での学校教育を展開していく上で、どのように5日制を活用していくか、さらに議論を深めていく。
- ・地域差や個人の能力に応じた対応が可能な時間として、土曜日を活用していく。

**土曜日の有効活用に向けた視点**

- ・教科の学力を支えているすそ野の部分（いろいろな体験や経験の世界）を充実させていく視点と、教科指導とつなげる視点
- ・潜在力をもった者を伸ばしていく視点
- ・学習意欲の向上につなげる視点
- ・学びの文化につなげる視点
- ・土曜日に自分なりの過ごし方が見いだせていない子どもを支援する視点

**システムづくりに向けて**

- ・子どもの課題や意欲、ニーズに応じて、また保護者のニーズにも応えるメニューや場の提供が必要。
- ・学校だけでなく、地域、PTAの協力が必要。
- ・枠を決めて子どもを集めるのではなく、子どもが集まった中で枠は決まっていく。そのため、子どもの取り合いをするのではなく、子ども自身がきちんと選択できるようなシステムづくりが必要。
- ・どんな成果をあげたのか、どれだけ子どもが変わったのかをチェックするなど、評価という観点を押さえていくことが大切。
- ・システムをつくるに当たっては、中学校の部活動をどういう位置づけで、どう捉えていくのかを一定整理することが必要。